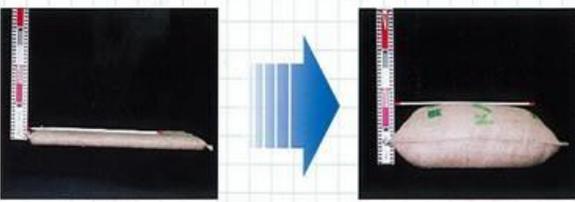
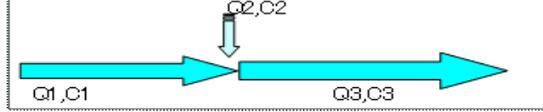
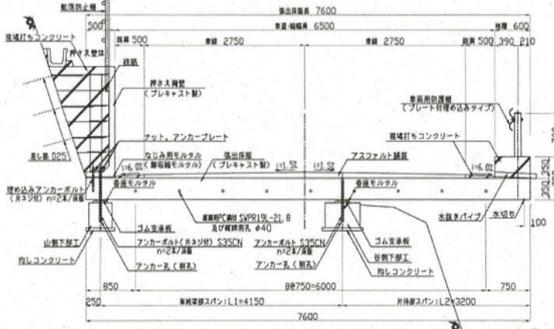
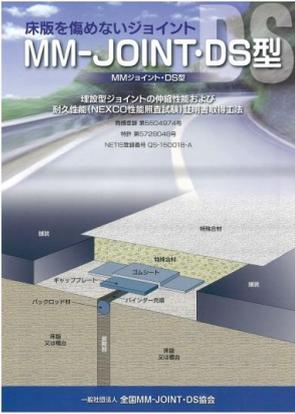
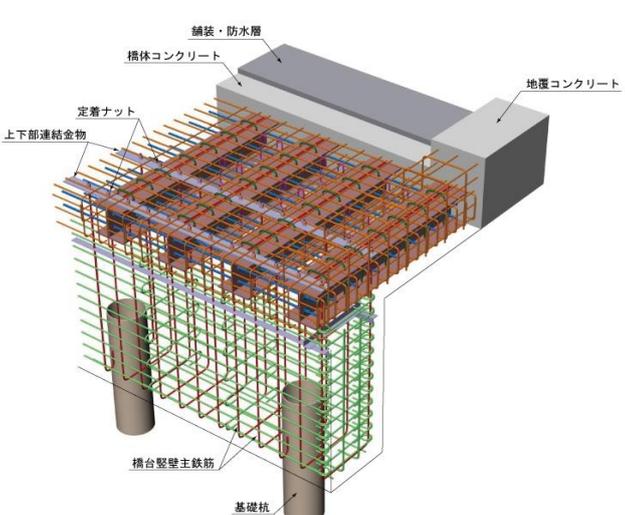


工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・現場で舗装を剥ぎ取りし、アスファルト殻をそのまま現場で再生利用し舗装する工法。	 
5012		
ASRR（アスル）ユニット及び工法	(特徴) ・アスファルト新材の購入や運搬などの経費が不要。環境にやさしい工法。 (効果) ・工期短縮、コスト縮減、環境負荷が小さい	
登録番号	(工法説明)	 <p data-bbox="933 840 1492 918"> 〈吸水前〉 61×41×3cm 4.0kg 〈吸水後〉 56×35×13cm 21kg前後 </p> <p data-bbox="933 929 1492 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 吸水開始後、4分で約5倍の飽和状態になり緊急時に最も重要な即効性があります。 </p>
6014	・使用前は約4kg/袋の土のうが、水に4分程度浸すことで5倍の21kg/袋の水防用土のうとして使用。	
環境循環型機能性土のう	(特徴) ・内容物を天然素材（ひのきのチップ、デンプン、砂）を使用し、比重は1.2で水に沈む。 ・麻袋を使用し、多段積みが可能。 ・使用後は樹木の肥料として再生使用。 (効果) ・今までの土のうに比べ敏速に現地に適応。 ・コスト縮減。	
登録番号	(工法説明)	<p data-bbox="933 1108 1476 1142" style="color: red; text-align: center;">水比抵抗による水路の流量測定</p>  <p data-bbox="933 1288 1476 1444"> $Q_1 \cdot C_1 + Q_2 \cdot C_2 = Q_3 \cdot C_3$ ———— 塩分量 $Q_3 = Q_1 + Q_2$ なので ———— 水量 $Q_1 \cdot C_1 + Q_2 \cdot C_2 = (Q_1 + Q_2) \cdot C_3$ よって、$Q_1 = \frac{Q_2(C_3 - C_2)}{C_1 - C_3}$ </p>
7015	・上流より食塩水を一定量継続して流し、希釈された塩濃度（水比抵抗変化）を測って流量を求める調査方法。	
簡易水量調査法（塩分収支法）	(特徴) ・横断測量をする必要がないため、調査日数が短縮され、また、調査船等も不要で経費が節減できる。 (効果) ・工期短縮、コスト縮減、品質向上	
登録番号	(工法説明)	
7016	・再生クラッシャーランとPS（ペーパーラッジ）灰を造粒固化した骨材を混合した再生粒度調整碎石。	
再生粒度調整碎石（エコパンS-2）	(特徴) ・舗装要綱にある修正CBR、すりへり試験値をクリアし、PS灰のリサイクル性を高め、産業廃棄物の発生を抑制する製品です。 (効果) ・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
7017	<ul style="list-style-type: none"> ・部材にPRC構造を導入し部材形状を凹型にしたことで、部材の軽量化が図られ、大型断面を経済的に構築可能としたボックスカルバートです。 	
スーパーボックスカルバート	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断面寸法に係わらず工期を大幅に短縮できる。 ・スパン10m程度からトータルコストの縮減効果が期待できる。 ・工場製品での構築となるため、品質が向上する。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。 	
登録番号	(工法説明)	
7018	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート、モルタル等のクラック（亀裂）、剥離等の発生しやすい箇所の処理等を目的に開発された無機材と合成高分子エマルジョン（セメント系）を組み合わせ、その他数種類を混合した新しいタイプの特殊樹脂モルタルです。 	
BASK（バスク）	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント処理、各種塗装下地材としての万能材です。 ・高強度を保有し、剥離及び亀裂等を防ぎます。 ・養生期間が短いため、工期の大幅な短縮に役立ちます。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減、品質向上、環境負荷が小さい。 	
登録番号	(工法説明)	
8019	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルハンマー工法は、超高周波型サイクルビットにより、硬質地盤を微振動衝撃破砕する。 	
サイクルハンマー工法	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超低振動、低騒音により、夜間作業、市街地、住宅地、オフィス街等の振動公害対策が求められるところでも施工が可能。 ・機械がコンパクトなため、設置撤去が容易にできるうえ、支障物件の近接施工が可能。 ・毎分7,200回の超高周波垂直運動（垂直振幅5mm）により高速削孔が可能。 ・ベントナイトを使用しないため、産業廃棄物が発生しない。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮、コスト縮減、環境負荷が小さい。 	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・転石抑止工の中のロープネット工に関する改良技術。	
8020	(特徴)	
ワイヤーネットワークA工法	<p>・ロープネット工に使用されるワイヤーロープには主ロープと補助ロープがあり、アンカーに直結されるロープを主ロープ、間接に結合されるロープを補助ロープとしている。</p> <p>・本工法は従来工法に比較し、主ロープの割合を増やし、同一強度で経済性を向上させることを特徴とする。また、テンションバーを採用することにより、気温の変化によるロープ張力の変動を抑制することが可能である。</p> <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減、品質向上。 	
登録番号	(工法説明)	
8021	・本構造は現道の谷側に直接基礎又は杭基礎を設け、その上にプレキャスト製PC床版を敷設して新たな路面を造成し、床版の一部が張り出した構造物です。床版の山側におもりとなるプレキャスト擁壁及び擁壁背面に現場打ちコンクリートを打設し、床版を押さえ込んで安定化を図っています。	
張出車道工法	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急峻な地形で、谷側に拡幅を行うのに有効で、「1.5車線計画」で現道の一部区間を2車線化する等の計画に有効。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮、コスト縮減。 	 <p>注) 下部工は地盤条件により決定され、杭基礎の場合もある。</p>
登録番号	(工法説明)	
12022	・「軽量法枠やまChan」は、コンパクトに折りたたまれたものを法面で開き、予め配筋された主鉄筋の上に置き、波型サポート帯3箇所主鉄筋を結束するだけで簡単に地山へ設置することができる工場製品で、作業の省力化により施工コストが削減され、経済性の向上が期待できる工法である。	
SGフレーム工法 (軽量法枠やまChan)	<p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法面での型枠組立、設置作業の省力化、材料の削減により経済性が大きく向上。 ・従来技術に比べ、断面を小型化することにより、材料を軽量、簡略化。使用材料も削減。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト縮減、省力化、作業環境の向上。 	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
13024	<ul style="list-style-type: none"> ・本工法は、電気エネルギーを活用した衝撃力と薬剤の燃焼ガス圧で硬岩やコンクリートを破砕する工法です。 ・瞬時に大きな圧力で破砕しますので、従来工法のように連続的な騒音や振動が発生しません。 ・従来工法による打撃破砕では困難な硬岩の破砕を実現します。 [硬岩実績：350MPa] 	
放電衝撃破砕工法	<ul style="list-style-type: none"> ・従来工法のような連続騒音や振動及び破砕時の粉塵が発生しないため、市街地や住宅地などで、環境負荷の少ない破砕を提案できます。 ・資機材一式を普通車（1BOX車等）に搭載できるため、現場へのアプローチが容易です。 ・破砕点で必要な機材は全て人力可搬型ですので、狭隘な場所や急峻な斜面などでの破砕が可能です。 <p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来工法のような連続騒音や振動及び破砕時の粉塵が発生しないため、市街地や住宅地などで、環境負荷の少ない破砕を提案できます。 ・資機材一式を普通車（1BOX車等）に搭載できるため、現場へのアプローチが容易です。 ・破砕点で必要な機材は全て人力可搬型ですので、狭隘な場所や急峻な斜面などでの破砕が可能です。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工性、安全性、環境配慮で向上。 	
登録番号	(工法説明)	
14025	<ul style="list-style-type: none"> ・局地的な集中豪雨や夜間における出水、自然災害によるライフラインの断絶等の非常時においても、操作員による閉扉操作が不可欠であるが、浮体式陸閘ゲートは扉体の持つ浮力により外水位の変化に応じて起立し閉扉する構造となっています。これにより、不測の事態で操作員が現場に行けない場合でも扉体をフリーにしていれば浮力により起立するため、洪水被害を軽減し、かつ、操作員の安全性が向上します。 	
浮体式陸閘ゲート	<ul style="list-style-type: none"> ・河川堤防の開口部に設置される陸閘ゲートであり、非常時には浮体構造となっている扉体が浮力により起立し閉扉する技術です。 ・地下施設の入口に設置することにより、ゲリラ豪雨等の大雨による局地的な豪雨災害に際しても、浮力による閉扉機能により浸水被害を防止します。 ・防潮堤開口部の陸閘ゲートとしても応用可能な技術です。 ・扉体の起立時には、ロック機構により起立状態を維持できます。 ・側部戸当りの水密部にD形の合掌水密ゴム（以下、バッファゴムという。）を設置しているため、急激な起立による衝撃を吸収できる構造としています。 ・輪荷重25T、A活荷重に対応した構造としています。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期、経済性、安全性、環境 	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・橋梁用伸縮継手装置において適用する埋設ジョイントです。	 
16026	(特徴)	
MM-ジョイント・DS型	<ul style="list-style-type: none"> ・上部舗装部に付着性が強い特殊性合材を使用し、床版上にゴムシートを敷設することにより低温時に優れた伸縮性の特性を持ちます。 ・特殊合材とゴムシートによりスムーズに伸縮に対応することができ、ジョイント端部のクラックの発生を低減できます。 ・特殊合材（高粘弾性）であるため、プライマーが不要となり作業時間が短縮できます。 (効果) ・品質・出来形、経済性、県産資材活用	
登録番号	(工法説明)	
16027	(特徴)	
ECONBI工法	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝蓋による修繕の技術。 ・ECONBI工法は、主に側溝蓋掛け部の破損に伴う側溝蓋等の補修に際して、従来の永久型枠及びコンクリートを使用した暗渠化工法から、既存側溝にプレキャスト化された蓋と充填モルタルを使用し側溝の補修を行うもので、コンクリート養生等の必要がなく即日開放が可能なおうえ、本体の取り壊しが必要なく通行障害及び振動、騒音の問題を解消できる工法です。 (効果) ・工程、品質、安全性、施工性、耐久性。	
登録番号	(工法説明)	
17028	(特徴)	
イーザーラーメン橋 (H鋼桁埋込RC複合門型ラーメン橋)	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の上部構造と下部構造を剛結一体化させ、門型ラーメン構造の橋梁にする技術。 ・上下部剛結一体化させる門型ラーメン橋では単純構造の橋梁に比べて杭基礎本数の低減、支承や落橋防止装置の省略、下部工サイズの縮小などが可能となり、建設コストの縮減が期待できる。門型ラーメン構造であるので従来工法に比べて耐震性に優れる。伸縮装置が不要となるため維持管理コストが低減できる。伸縮装置がないため騒音、振動を大幅に低減でき、低桁高により周辺取り付け道路の高上げ等も減少し、周辺環境への影響を低減することができる。 (効果) ・経済性、施工性、耐久性、環境（NETISによる技術の位置付け） ・活用促進技術（有用な新技術）	

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明)	
19030	<ul style="list-style-type: none"> 従来のプラスチック平面反射体を樹脂製曲面反射体にした円形の道路鋲である。360°の視認性をもつ構造で、道路鋲本体のずれや反射体の破損による影響を受けることなく、夜間視認性を発揮する製品である。 	
ケーズリング (Hタイプ)	<ul style="list-style-type: none"> (特徴) 樹脂製であり、製品単価が安価である。 360°の視認性をもつ構造で、道路鋲本体のずれや反射体の破損による影響を受けることなく、夜間視認性を発揮し、道路交通の安全に寄与する。 車両が本製品を踏みつけても、材質が樹脂であるため、金属製の道路鋲と比べると車両への影響が小さい。 (効果) 品質・出来形、経済性、安全性、環境 	
登録番号	(工法説明)	
13023	<ul style="list-style-type: none"> 路面補修に使用する常温合材で、従来までは石油系有機溶剤が使用されているため、人体や環境に有害な影響を及ぼすリスクがありました。しかし、オレンジパッチは石油系有機溶剤の代わりに柑橘系果皮オイルを使用しているため、人体、環境に無害な全天候型常温合材です。 	
オレンジパッチ	<ul style="list-style-type: none"> (特徴) 本技術は100%植物系の溶剤を使用しています。 石油系有機溶剤を含まないため、人体に触れても無害です。また、大気汚染、土壌汚染、地下水汚染の心配がありません。さらに、従来技術では対応できなかったカラー舗装にも本技術は対応可能です。 特に効果の高い適用範囲 交通量の多い道路 用水路、水田などへ溶剤の流出が懸念される場所 (効果) 安全性、環境 	